

(3) 県負担・補助率の考え方

ロールモデルを活用した女性のキャリア形成支援は、本県の女性活躍の推進に向け不可欠であり、県負担は妥当。

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（国1/2、県1/2）を充当予定。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル評価会議委員報酬
旅費	80	プロポーザル評価会議委員費用弁償・業務旅費
消耗品費	10	
会議費	1	会議お茶代
役務費	36	通信運搬費
委託料	2,869	
合計	3,028	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

第5次岐阜県男女共同参画計画において柱として掲げる「男女がともに活躍できる社会づくり」「未来の礎となる男女共同参画社会の基盤づくり」を進めていくために、県内の女性（出産・子育て期として労働力率が低下する25～34歳）の労働力率を全国平均並みの水準に引き上げる。また、管理的職業従事者に占める女性の割合を増やす。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①25～34歳の女性労働力率の向上	全国平均以下		全国平均水準	全国平均水準	全国平均水準	
②管理的職業従事者に占める女性	13.0%		—	15%	16%	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和6年度	<p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	若年女性の県内定着を図るうえでは、ロールモデルとなる女性との交流により、自身のライフプランやキャリア形成を考える機会の提供が必要である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	ロールモデルとなる女性との交流により、女性自身のライフプランやキャリア形成を考える機会が提供されている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	センターの他事業と連動した効果的な広報が可能。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 女性活躍の推進に向け、ロールモデルを活用した女性のキャリア形成支援を継続する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 参加者数等からニーズを把握し、事業の継続を判断する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】